

2023 年度 一般入学試験 後期日程

地理歴史・公民・理科 〔世界史 B, 日本史 B, 政治・経済〕 〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

(試験時間 60 分)

この問題冊子には、「世界史 B」「日本史 B」「政治・経済」の 3 科目及び「理科 (物理基礎・化学基礎・生物基礎)」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、125 ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史 B	4 ~ 27	左の 3 科目のうち 1 科目を選択して解答する。
	日本史 B	28 ~ 55	
	政治・経済	56 ~ 79	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	81 ~ 125	試験時間内に左の 3 科目のうち 2 科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙 1 枚で 2 科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間 (60 分) の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

日本史 B

(解答番号 ~)

第 1 問 次の文章 A・B を読み、下の問い(問 1～9) に答えよ。

A 6 世紀に[Ⓐ]百済から公式に伝えられた仏教は、厩戸王らの保護を受けて広まり、7 世紀前半には最初の仏教文化である飛鳥文化が栄えた。7 世紀後半、天武天皇は や薬師寺の造営を進めるなど、仏教の興隆を国家的に推進したため、地方豪族も寺院を建立し、仏教は急速に普及した。

[Ⓑ]奈良時代に入ると、仏教と国家との関係はさらに緊密になり、聖武天皇は鎮護国家思想によって国家の安定をはかろうと考えた。741 年に国分寺建立の詔を発して諸国に国分寺と国分尼寺の建設を進め、翌々年には大仏造立の詔を出している。大仏造立の詔は で発せられたが、都が平城京に戻ると奈良で大仏造立の事業が続けられ、752 年、孝謙天皇の時に、大仏開眼供養の儀式が行われた。また、この時代の奈良の大寺院では、南都六宗の学派が形成され、政府の保護のもとで仏教理論の研究が進められた。その一方で、政府は仏教を厳しく統制し、[Ⓒ]僧侶となる資格や手続を定めるなど管理を強化した。

問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 大宮大寺 イ 紫香樂宮
- ② ア 大宮大寺 イ 恭仁京
- ③ ア 興福寺 イ 紫香樂宮
- ④ ア 興福寺 イ 恭仁京

問2 下線部㉔に関連して、百済は日本と密接な関係にあつて、日本における先進文化の導入に大きな役割を果たした。古代における日本と百済との関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

- Ⅰ 百済から五経博士の段楊爾が来日し、五経を講じて儒教を伝えた。
- Ⅱ 百済から観勒が来日し、曆本や天文地理書などを伝えた。
- Ⅲ 百済王の太子が倭王に贈ったとされる七支刀がつくられた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問3 下線部㉕に関連して、奈良時代の美術に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

- a 薬師寺に伝わる『鳥毛立女屏風』は、樹下に唐風の衣装をまとった女性を描いた樹下美人図で、唐の影響を受けた絵画である。
- b 唐招提寺講堂は、平城宮にあった朝集殿を移築した建築物で、平城宮の宮殿を知る唯一の遺構である。
- c 東大寺法華堂にある不空羂索観音像は、木を芯にして粘土で塗り固める塑像の技法でつくられた彫刻である。
- d 百万塔陀羅尼は、恵美押勝の乱後に称徳天皇の発願でつくられ、百万基の木製小塔の内部に陀羅尼経が納められている。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 B

問 4 下線部㉔に関連して、奈良時代の僧侶に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 行基は、民間布教などを行ったため政府から弾圧を受けたが、大仏造立に協力して大僧正に任じられた。
- ② 道鏡は、孝謙太上天皇が称徳天皇として再び即位すると、太政大臣禪師、さらには法王となって権勢をふるった。
- ③ 玄昉は、華嚴宗を広めた良弁の弟子で、皇族出身の橘諸兄が政権を握ると吉備真備とともに重用された。
- ④ 鑑真は、日本に戒律を伝え、東大寺に戒壇を設けて皇族らに授戒した唐僧で、日本への渡航の様子が淡海三船の著した書物に記されている。

B 平安時代の初め、唐に留学した最澄と④空海が帰国し、天台宗と真言宗が日本に伝えられた。⑤最澄は、仏教による護国を実現するために、僧の養成が必要だと考え、比叡山に大乘戒壇を設立して、授戒のうえで僧侶の資格を与えようとした。空海は、秘密の呪法によって悟りを開く真言密教の教えを説き、高野山の金剛峰寺や⑥嵯峨天皇から賜った教王護国寺を密教の根本道場とした。のちに円仁や円珍によって天台宗にも密教が取り入れられたため、真言宗の密教は東密、天台宗の密教は台密と呼ばれるようになった。

平安時代中期には、阿弥陀仏の極楽浄土に往生することを願う⑧浄土信仰が広まった。10世紀半ば、空也が京都の市中で念仏を広め、続いて源信が『往生要集』を著して念仏往生の教えを説くと、浄土信仰は庶民にも浸透していくこととなった。また、こうした浄土信仰は、阿弥陀堂の建築や来迎図の制作など、⑨10世紀から11世紀の文化にも大きな影響を与えた。

問5 下線部④に関連して、空海は真言宗の布教に努めただけでなく、詩文や書道に優れ、教育にも力を注いでいる。空海の功績に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

5

X 最澄に送った手紙である『風信帖』などの書があり、橘逸勢らとともに三筆と称されている。

Y 貴族の子弟の教育を目的として奈良に綜芸種智院を設立し、仏教や儒教を講じた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問8 下線部㉔に関連して、浄土信仰の発展に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

8

X 浄土信仰は末法思想によって強められ、治安の悪化や疫病の流行などにより末法の世の到来を実感した人々は来世に救いを求めていった。

Y 浄土信仰の発展によって、神仏習合の考え方が否定され、神前での読経や神宮寺の建立が禁じられた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問9 下線部㉕に関連して、この時期に活躍した人物に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する人物名a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

9

X この人物は、極楽浄土に往生した人々の伝記を集めて『日本往生極楽記』を著した。

Y この人物は、最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』の撰者の一人である。

a 慶滋保胤

b 喬然

c 紀貫之

d 藤原公任

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

第2問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 1336年、足利尊氏は持明院統の を擁立し、当面の政治方針を示す [Ⓐ]建武式目を発表した。これに対して、[Ⓑ]後醍醐天皇は、吉野に朝廷を開いて自らが正統な皇位にあることを主張したため、京都の北朝と吉野の南朝とが並び立つこととなった。

南北朝の動乱の時期は、政治的にはもちろんのこと、[Ⓒ]社会的に見ても大きな転換期となった。また、農業や[Ⓓ]商工業の発達などによって民衆の生活が向上したため、民衆を支持基盤とした文化も発展した。例えば、貴族の文芸として古くに始まった連歌は、連歌師が各地で民衆を集めて寄合を開いたことによって急速に普及し、14世紀中頃には、 が師の救済とともに『菟玖波集』を撰し、『応安新式』を定めるなど、連歌の文学的地位を確立させた。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 光厳天皇 イ 宗 祇
- ② ア 光厳天皇 イ 二条良基
- ③ ア 光明天皇 イ 宗 祇
- ④ ア 光明天皇 イ 二条良基

問2 下線部②に関連して、次の史料は建武式目の一部である。この史料に関して述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

史料

政道の事

右、時を量^{はか}り制^{もつ}を設く。和漢の間、何の法を用ひらるべきか。先づ武家全盛の跡を逐^おひ、尤も善政を施^{もつと}さるべきか。(中略) 古典に曰く、徳は是れ嘉政^{いわ}、政^こは民^{やす}を安んずるに在りと云々。早く万人の愁^{うんぬん}(注1)を休むるの儀、速かに御沙汰有るべきか。(中略) 遠くは延喜・天曆^{えんぎ てんりやく}兩聖の徳化^{とぶら}を訪ひ、近くは義時・泰時父子の行状を以て、近代の師となす。 (『建武式目』)

(注1) 愁：嘆くこと。

- a 史料では、武家政治の最も優れていた時期の事蹟を踏襲して、善政を行うべきだと述べられている。
- b 史料では、民衆の批判を気にかけず、支配者が早急に政策を実施するのが徳政であると述べられている。
- c 史料では、建武の新政で後醍醐天皇が理想とした醍醐天皇・村上天皇の政治についても言及されている。
- d 史料では、執権に権力を集中させて合議制を形骸化した北条泰時の功績を参考にすると述べられている。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 B

問 3 下線部⑥に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

X 彼が行った建武の新政では、所領に関係する裁判を担当するためにこの政務機関が設置された。

Y 彼の死後、その冥福を祈るために寺院の建立が計画され、造営費調達のためこの貿易船が元に派遣された。

a 記録所 b 雑訴決断所 c 天龍寺船 d 建長寺船

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 4 下線部③に関連して、南北朝の動乱が武家社会にもたらした影響に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 13

X 嫡子がすべての所領を相続する単独相続が一般化し、本家と分家のつながりを前提とした惣領制が解体した。

Y 武士団の内部で対立や分裂が起き、それまでの血縁的結合から地縁的結合が重視されるようになっていった。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問5 下線部④に関連して、次の図は室町時代の行商人の様子を描いたものである。この行商人の名称として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

14

荷を運ぶための木製の背負い道具



- ① 連雀商人 ② 振 売 ③ 大原女 ④ 桂 女

日本史 B

B ㉔室町幕府の職制は鎌倉幕府のものによく似ており、中央には侍所・政所などが置かれた。鎌倉幕府の執権に相当するのが将軍を補佐した管領で、これには足利氏一門の ・細川・畠山の三氏が交代で任じられた。地方では九州や東北に探題が置かれ、関東 8 か国と甲斐・伊豆などは鎌倉府が管轄した。鎌倉府は、与えられた権限も大きかったため、その長官である鎌倉公方は幕府とたびたび対立し、幕府に反抗的であった鎌倉公方 が討伐されるなどした。

室町幕府は、㉕有力守護による連合政権的な性格をもっており、将軍は、勢力を強めた守護を攻め滅ぼすことで、その権力を維持することにつとめた。しかし、6代将軍の足利義教が有力守護に殺害されると、将軍の権威は失墜し、㉖1467年には応仁の乱が勃発した。

問6 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 山 名 エ 足利基氏
- ② ウ 山 名 エ 足利持氏
- ③ ウ 斯 波 エ 足利基氏
- ④ ウ 斯 波 エ 足利持氏

問7 下線部㉔に関連して、室町幕府の財源に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 京都で高利貸を営んでいた土倉や酒屋に対して税を課した。
- ② 交通の要所に関所を設けて、分一銭と呼ばれる通行料を徴収した。
- ③ 内裏の造営などの際には、全国的に段銭や棟別銭を賦課した。
- ④ 日明貿易の利益のほかに、直轄領である御料所からの収入があった。

問8 下線部㉑に関連して、有力守護のなかにはやがて領国支配を強化して戦国大名になる者もいた。戦国大名とその出自との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 毛利氏 — 守護大名
- ② 武田氏 — 国人
- ③ 今川氏 — 守護代
- ④ 大友氏 — 守護大名

問9 下線部㉒に関連して、応仁の乱が勃発すると、戦火を逃れて地方に下った公家や僧侶らによって、中央の文化が地方に伝えられた。文化の地方普及に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18

- X 桂庵玄樹は、薩摩の島津氏に招かれて儒学を講じ、薩南学派の祖とされた。
- Y 林下と呼ばれる禅宗諸派が、自由に布教活動を行い、各地で武士や民衆の支持を受けた。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

第3問 次の文章A・史料群Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 1600年にオランダ船 が豊後に漂着したことを契機にオランダ・イギリスとの貿易を始めるなど、徳川家康は海外貿易に積極的で、周辺諸国とも良好な関係を築こうとした。また、この時期は日本人の海外への進出がさかんで、㉑幕府は大名や商人に朱印状を与えて貿易を奨励したため、南方の各地には日本町がつくられた。

しかし、㉒幕藩体制が確立されていくなかで、海外貿易に対して制限が加えられていき、17世紀半ば頃には、日本に来航する貿易船がオランダ船と中国船に限られて、㉓貿易港も長崎1港となった。こうしていわゆる「鎖国」が完成したが、国を完全に閉ざしたわけではなく、長崎のほか、・薩摩・㉔松前を通じて対外交流は維持された。

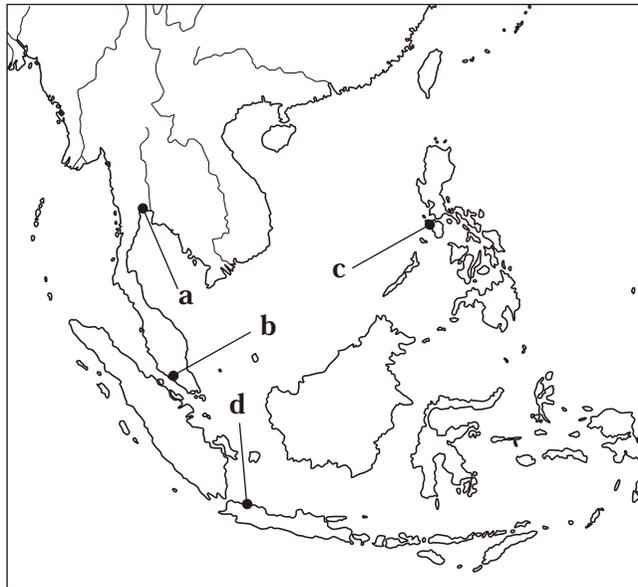
問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア サン=フェリペ号 イ 佐 渡
- ② ア サン=フェリペ号 イ 対 馬
- ③ ア リーフデ号 イ 佐 渡
- ④ ア リーフデ号 イ 対 馬

問2 下線部㉔に関連して、朱印船貿易と関係の深い都市について述べた次の文X・Yと、それに該当する地図上の位置a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 20

X チャオプラヤ川下流のこの地は、14世紀半ば頃に成立した王朝の都であり、都市内につくられた日本町では江戸時代初めに山田長政が長となった。

Y 豊臣秀吉が服属と入貢を求めたスペイン政庁がこの地にあり、その後、この地の郊外にあるディラオやサンミゲルには日本町がつくられ、朱印船貿易により多くの日本人が居住した。



- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

日本史 B

問 3 下線部㉔に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

X 大名は親藩・譜代・外様に分けられたが、親藩には一橋・紀伊・水戸の3藩である三家などが含まれた。

Y 大名の領地と支配機構を藩と総称したが、そこでは藩の直轄領からの年貢を蔵米として藩士に支給する俸禄制度などがとられた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 4 下線部㉕に関連して、江戸幕府が行った貿易政策に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

I 長崎などの特定の商人に糸割符仲間をつくらせ、輸入生糸を一括購入することで、ポルトガル商人の利益独占を排除しようとした。

II 長崎貿易における銀の流出を抑えるため、清船は銀6000貫、オランダ船は銀3000貫に年間貿易額を制限した。

III 清船の長崎への来航を年間70隻に制限し、交易に従事する清国人の居住地を限定するために長崎郊外に唐人屋敷を設けた。

① I — II — III

② I — III — II

③ II — I — III

④ II — III — I

⑤ III — I — II

⑥ III — II — I

問5 下線部㉔に関連して、江戸時代における松前氏とアイヌとの関係に関して述べた次の文 **a**～**d** について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 23

- a** 蠣崎氏から改称した松前氏は藩制を敷いたが、アイヌとの交易独占権を認めようとしないう江戸幕府としばしば対立した。
- b** アイヌとの交易対象地域は商場と呼ばれ、松前氏は当初上級家臣にアイヌとの交易権を知行として与える商場知行制をとった。
- c** アイヌは、首長コシャマインを中心として松前氏と対立し、戦闘に至ったが敗れ、以後松前氏の支配を強く受けるようになった。
- d** 松前氏は、アイヌを全面的に服従させると、商場の経営を本州の商人に委ねる場所請負制度をとるようになっていった。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

B

史料 1

諸役人役柄に^{やくがら}応ぜざる^{しょうしん}小身(注1)の面々、前々より御役料(注2)定め置かれ下され候^{ところ}処、知行の高下(注3)之^{これ}有る^あ故、今迄^{まで}定め置かれ候御役料にてハ、小身の者御奉公^{つづきかね}続兼申すべく候。之に依り、今度^{このたび}御吟味之^{ぎんみ}有り、役柄により、其^{その}場所相応ニ小身ニて御役勤^{つとめ}候者ハ、御役勤候内御足高^{たしだかおほ}仰せ付けられ、御役料増減之有り。(『御触書寛保集成』)

(注1) 小身：禄高の少ない者。

(注2) 役料：家禄に増額していた一定額の手当。

(注3) 高下：禄高の多い者と少ない者。

史料 2

此度^{このたび}御蔵米取御旗本・御家人^{おくらまいどり}勝手向(注4)御救^{かってむき}のため、蔵宿(注5)借金仕法(注6)御改正^{おすくい}仰せ出され候事。(中略)

一 旧来の借金^{もちろん}は勿論、六ヶ年以前^{たつどし}辰年まで^{かりうけ}二借請候金子^{きんす}は、古借・新借の差別無く、棄捐の積り^う相心得べき事。(『御触書天保集成』)

(注4) 勝手向：暮らし向き。

(注5) 蔵宿：札差。

(注6) 仕法：仕方。

史料 3

菱垣廻船積問屋共^{ひがきかいせんつみといや}より是迄^{これまで}年々^{みようが}冥^{いた}加上^{きた}納金^{ところ}致し来り候^{おもむき}処、問屋共不正の趣^{おもむき}も相聞^{あい}え候^{つき}ニ付、以来^{もつとも}上納^{きようこう}ニ及ばず候。尤、向^{きようこう}後(注7)右仲間株札^{もちろん}ハ勿論、此外^{このほか}共都て問屋仲間^{すべ}并^{ならびに}組合^{など}杯^{となえ}と唱^{その}候儀は、相成らず候間^{その}其段申し渡さるべく候。(『天保法制』)

(注7) 向後：以後。

問6 史料1に関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 史料1では、今まで決められていた一定額の手当では、役職に就いて奉公を続けることができなくなる者が出てくると述べられている。
- ② 史料1の政策が実施された時期には、天明の飢饉などによって農民生活が困窮し、江戸時代を通じて最も多く百姓一揆が起こった。
- ③ 史料1では、役職ごとに定めた禄高に達しない場合は、在職中に限って不足分を支給する制度に改めると述べられている。
- ④ 史料1の政策を実施した将軍は、儒学者の荻生徂徠や農政家の田中丘隅などを用いて幕政改革を進めた。

問7 史料2の政策に関して、この政策の目的に関して述べた文X・Yと、この政策の内容を説明した文a・bとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

目的

- X 困窮する旗本・御家人を救済することを目的とした。
- Y 金銭貸借関係の争いを旗本・御家人自身で解決させることを目的とした。

内容

- a 金銭貸借関係の訴訟の激増によって、その他の訴訟の処理などに支障をきたすようになったので、今後は評定所では金銭貸借関係の訴訟は受理しないとした。
- b 旗本・御家人に支給される俸禄米の受取・売却を請け負い、高利貸を行っていた札差に対し、一定の時期以前の貸金を放棄させた。

- ① X — a
- ② X — b
- ③ Y — a
- ④ Y — b

日本史 B

問 8 史料 3 に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 史料 3 では、菱垣廻船と提携していた江戸の二十四組問屋などの株仲間を解散すると述べられている。
- ② 史料 3 の政策が行われたのは、江戸周辺の在郷商人が上方市場からの商品流通を独占しているとの幕府の判断があった。
- ③ 史料 3 の政策によって、一般の商人の自由な取引が活発化するなか、価格競争に敗れた商人を率いて生田万の乱が起こった。
- ④ 史料 3 の政策は、その後の市場の混乱による物価の高騰を招いたため、10 年後に撤回された。

問 9 史料 1 ～ 3 はいずれも幕藩体制の再建を目的に出された法令であるが、これらの発令に関わった人物に該当しないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

27

- ① 徳川吉宗 ② 田沼意次 ③ 松平定信 ④ 水野忠邦

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。

第4問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A ①明治政府は、富国強兵を目指し近代化をはかって国内体制の整備を進め、近隣のアジア諸国との間には近代的な条約に基づく新たな関係を構築しようとした。しかし、清を宗主国とし鎖国政策をとり続ける朝鮮は、日本の求めに応じなかった。そのため、日本は **ア** を契機として、1876年に日朝修好条規を結んで開国させ、朝鮮に領事裁判権や無関税特権を認めさせるとともに、朝鮮に対する清の宗主権を否定しようとした。

こうして1880年代、日本と清は朝鮮をめぐる対立する関係となった。朝鮮国内の親日改革派である独立党は、清仏戦争を好機と判断し、日本公使館の援助を得てクーデタを起こしたが、清国軍の来援で失敗した。この甲申事変により日清関係はさらに悪化するとともに、②日本国内の世論にも影響が生じた。その後、**イ** が結ばれて日清間の緊張状態は緩和されたが、朝鮮で甲午農民戦争が起きると日清両国の対立が再び高まり、③日清戦争が勃発した。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

- ① **ア** 壬午軍乱 **イ** 天津条約
- ② **ア** 壬午軍乱 **イ** 南京条約
- ③ **ア** 江華島事件 **イ** 天津条約
- ④ **ア** 江華島事件 **イ** 南京条約

問2 下線部③に関連して、1870年代に実施された明治政府の内政改革に関して述べた次の文 **a**～**d** について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

29

- a フランスの制度を模範とした学校令を公布し、国民皆学を目指した。
- b 徴兵令を公布し、満20歳以上の男性から選抜して兵役に服させた。
- c 地租改正を実施し、物納を金納に改め、税率を地価の5%とした。
- d 華族・士族・平民などの新たな族籍に基づいた壬申戸籍を作成した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 B

問 3 下線部⑥に関連して、次の史料は1885年に『時事新報』に掲載された論説の一部である。この史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

史料

我国は隣国の開明を待て共に亜細亜を興すの猶予ある可らず、寧ろ其伍(注1)を脱して西洋の文明国と進退を共にし、其支那朝鮮に接するの法も、隣国なるが故にとて特別の会釈(注2)に及ばず、正に西洋人が之に接するの風に從て処分す可きのみ。悪友を親しむ者は、共に悪名を免かる可らず。我れは心に於て亜細亜東方の悪友を謝絶するものなり。

(注1) 伍：仲間や組，列のこと。

(注2) 会釈：おもいやり。

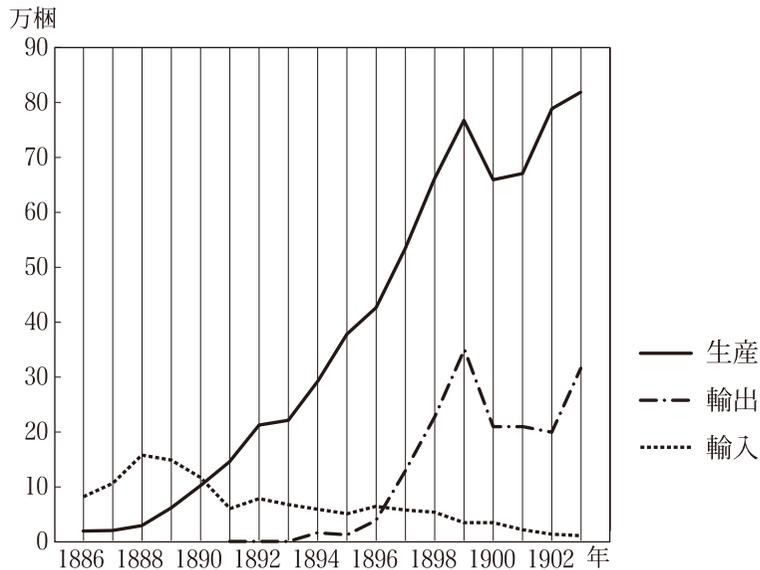
X 史料では、欧米列強に対抗するためにも、清や朝鮮などの近隣諸国との連携強化の必要性が述べられている。

Y 史料の論説は、『西洋事情』や『文明論之概略』を著した人物によって書かれたと考えられている。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | X | 正 | Y | 正 | ② | X | 正 | Y | 誤 |
| ③ | X | 誤 | Y | 正 | ④ | X | 誤 | Y | 誤 |

問4 下線部㉔に関連して、日清戦争前後に日本の産業革命が進展するが、その中心は紡績業であった。綿糸の生産量と輸出入量の変遷を示した次のグラフについて述べた文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

31



- ① 幕末、イギリスからの綿織物の大量輸入が綿作・綿織物業に大打撃を与えたため、明治時代前期の綿糸生産量が少なかったと考えられる。
- ② 1880年代以降に綿糸の生産量が伸びた背景として、大阪紡績会社の開業を契機とする機械制生産の急増があった。
- ③ 日清戦争以前に綿糸の生産量が輸入量を上回り、日清戦争後には輸出量が輸入量を上回った。
- ④ 綿糸の生産量の増加にともなって綿糸の原料である綿花の国内生産も拡大し、綿糸・綿花ともに輸入量が減少していった。

日本史 B

B ㉔ 第一次世界大戦中に日本は、欧米主要国にならって金輸出を禁止し、大戦後もこれを継続していたが、1930年1月、政府は、為替相場の安定と貿易復興を目指して金輸出解禁を断行した。しかし、その前年にニューヨークの株式市場で始まった株価の大暴落が世界恐慌に発展したため、㉕ 日本経済はこれらにより大きな影響を受けることになった。1931年に、イギリスが金本位制から離脱すると各国もこれにならい、日本も犬養毅内閣の 蔵相によって金輸出の再禁止が行われた。日本銀行券の金兌換も停止され、政府が通貨供給量を調整できる管理通貨制度へと移行した。

第二次世界大戦後の ㉖ 金ドル本位制と固定為替相場制を柱とする国際通貨体制は、1970年代に入ると大きく揺らいだ。アメリカは国際収支が悪化しており、1971年、 大統領が金とドルとの交換停止を含む新経済政策を発表した。西欧諸国が変動為替相場制に移行したために日本もそれに追随したが、同年末のスミソニアン協定で固定為替相場制が復活した。しかし、それも長くは続かず、㉗ 1973年、日本は西欧諸国とともに変動為替相場制に移行した。

問5 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|
| ① | ウ | 高橋是清 | エ | ジョンソン |
| ② | ウ | 高橋是清 | エ | ニクソン |
| ③ | ウ | 井上準之助 | エ | ジョンソン |
| ④ | ウ | 井上準之助 | エ | ニクソン |

問 6 下線部㉔に関連して、第一次世界大戦勃発から大戦終結後の講和会議に至る期間の国内政治に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 33

- Ⅰ 政府は、衆議院議員選挙法を改正したが、選挙権の納税資格を直接国税 3 円以上に引き下げるとどめた。
- Ⅱ 富山県の漁村における騒動を契機として、米の安売りなどを求めた暴動が全国各地に広がると、政府は軍隊を出動させて鎮圧した。
- Ⅲ 政府は工場労働者の保護を目的とした工場法を施行し、少年や女性の就業時間を制限したが、保護の内容は不十分なものであった。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 7 下線部㉔に関連して、金輸出解禁後の日本の経済・社会に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34

- X アメリカへの生糸をはじめとした輸出が大きく減少し、正貨が大量に海外に流出するとともに、都市では企業の倒産などにより失業者が増大した。
- Y 農産物価格の暴落などにより農村は大きな打撃を受け、東北地方などでは欠食児童や婦女子の身売りが相次ぎ大きな社会問題となった。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
 ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史 B

問 8 下線部①に関連して、日本が1950年代に加盟した国際機関と1950年代の日本の経済状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 日本は、為替レートの安定と国際決済の円滑化を目的に設立されたGATTに加盟した。
- ② 日本は、自由貿易の拡大と関税引下げを目的に設立されたIMFに加盟した。
- ③ 日本経済は神武景気と呼ばれた大型の好景気を迎え、『経済白書』に「もはや戦後ではない」と記された。
- ④ 日本は経済協力開発機構に加盟し、牛肉・オレンジなど農産物の輸入自由化を決定した。

問 9 下線部⑧に関連して、変動為替相場制に移行した時の内閣は田中角栄内閣であるが、田中内閣の政策およびその時期に起こった出来事に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36

- a 「日本列島改造論」を唱え、高速道路や新幹線の整備を進めて公共投資を拡大した。
- b 「戦後政治の総決算」を唱え、電電公社・専売公社・国鉄の民営化など行財政改革を推進した。
- c 日中平和友好条約を結んで日中の国交を正常化させたが、これにより台湾との外交関係は断絶した。
- d 第4次中東戦争が勃発し、アラブ産油国が石油戦略をとったため、第1次石油危機が起きた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2023年度一般入学試験後期日程【世界史B】

- 1) 「ダウ船」 写真：アフロ
- 2) 「ジャンク船」 写真：アフロ

2023年度一般入学試験後期日程【日本史B】

- 1) 「石山寺縁起絵巻」 石山寺所蔵